

初期実習 実習要項

2024



日本医療大学

保健医療学部 看護学科

学籍番号： _____ 学生氏名： _____

初期実習

I. 実習目的

1. 小規模多機能型居宅介護施設を利用している高齢者とのコミュニケーションを通じて、看護学の主要概念である人間、環境（特に生活環境）、健康、看護への関心を深め、看護学を学ぶ動機づけとする。
2. 実習における学びの共有化のグループワークを通じて、メンバーと協同して取り組む能力を修得する。
3. 1. 2. を通じて、自己の傾向を知り、看護学生としての自己の課題を明確にできる。

II. 実習目標

1. ケアを受けつつ地域で生活をしている高齢者とコミュニケーションをとることができる。
 - 1) 助言を受けつつ、個々の高齢者の状況にあわせたコミュニケーションをとることができる。
 - 2) 自己のコミュニケーションのとり方について振り返り、コミュニケーション上の課題を明らかにできる。
2. ケアを受けつつ地域で生活をしている高齢者を支えるしくみや職種について説明できる。
 - 1) 小規模多機能施設、看護小規模多機能施設の対象・機能（役割）について説明できる。
 - 2) 実習施設において働く職種とその役割について説明できる。
 - 3) 個々の高齢者に行われているケアの実際を見学し、健康障害をもちながらも地域で生活していくために必要な支援について考えることができる。
3. 看護学生として実習に臨む姿勢について考え、行動できる。
 - 1) 自らの健康管理ができる。
 - 2) 実習施設において必要な態度、姿勢、マナーなどを考え、行動することができる。
 - 3) 実習で知り得た情報の守秘義務を遵守することができる。
 - 4) グループメンバーと協同して、互いの学びを共有化することができる。
4. 実習を通じて看護学生としての目標や自己の課題を明らかにできる。
 - 1) 実習を通じて看護学生としての自己の課題を明確にできる。
 - 2) 看護学を学ぶにあたっての自己の目標を明確にできる。

Ⅲ. 実習方法

1. 実習日程

- 1) 実習前オリエンテーション：2023年4月5日（金）13:00～16:10
- 2) 実習：2023年4月22日（月）～4月26日（金）

2. 実習施設およびグループ番号

ノテ福祉会の25施設の小規模多機能型居宅介護施設（*一部看護小規模多機能型居宅介護施設）にそれぞれ2～4人のグループに分かれて行う。実習配置表は別途配布する。

（参照）ノテ福祉会・小規模多機能介護施設

<https://www.note.or.jp/facilities-type/>



3. 実習スケジュールの概要

		月	火	水	木	金
実 習 内 容	1限	オリエンテーション	*施設実習 2日間 (AM・PMのいずれか)		グループワーク *施設の特徴 *利用者の特徴 *ケア提供者について *行われていたケアについて *学んだこと・今後の目標など	発表準備
	2限	施設紹介： 「小規模多機能型居宅介護施設における介護の役割」				グループワークの発表
	3限	認知症ケアサポーター養成講座				
	4限	グループワーク				まとめ・後片付け

*施設実習について

施設実習は、同施設で半日ずつ2日間実習する。

例えば、1日目が午前の学生は、2日目は午後とする。1日目が午後の学生は、2日間は午前とする。

4. 実習の内容・方法

月日	曜日	実習内容・方法	備考
4月5日	金	<p><学内> 13:00～</p> <p>実習前オリエンテーション</p> <p>・実習に向けての準備など</p>	
4月22日	月	<p><学内> 9:00～10:30</p> <p>実習初日オリエンテーション</p> <p>・初期実習の目的・目標</p> <p>・実習スケジュールについて</p> <p>・グループワークの説明</p>	* 終了時に「講義を受けて学んだこと」提出
		<p><学内> 10:40～12:10</p> <p>実習施設紹介:</p> <p>「小規模多機能型居宅介護施設における介護の役割」</p>	
		<p><学内> 13:00～14:30</p> <p>認知症ケアサポーター養成講座</p> <p>認知症の人の理解と関わり方の基本</p>	
		<p><学内> 14:40～16:10</p> <p>グループワーク</p> <p>自己紹介</p> <p>グループ内での役割分担</p> <p>実習に向けての準備</p>	
4月23日	火	<p><施設実習 2日間></p> <p>・施設で更衣</p> <p>・挨拶・自己紹介</p> <p>・施設オリエンテーション</p>	施設において学んだことを各自まとめておく。
4月24日	水	<p>・利用者に行われているケアの見学</p> <p>・利用者とのコミュニケーション</p> <p>・施設で更衣</p> <p>帰宅</p>	
4月25日	木	<p><学内> 9:00～16:10 (休憩はそれぞれで決める)</p> <p>グループワーク * 施設における学びの共有化</p> <p>①施設の特徴</p> <p>②利用者の特徴</p> <p>③行われていたケアなど</p> <p>③コミュニケーションについて などについて</p> <p>ディスカッションをしながら、模造紙にまとめる (ポスター作成)</p>	ポスターを完成させてチェックを受ける * ポスターは実習後も掲示される。
4月26日	金	<p><学内> 9:00～10:00</p> <p>発表会の準備 (4会場)</p>	ポスターセッションの進行は教員が行う。質疑・応答をして討議をすすめる。
		<p><学内> 10:00～12:10</p> <p>ポスターセッション</p> <p>* 作成したポスターの前で、発表する。各グループ 15分程度</p>	
		<p><学内> 13:00～14:00</p> <p>他の会場のポスターを見て学ぶ</p>	
		<p>まとめと後片付け 14:00～16:00</p> <p>講評</p>	

5. 実習終了後レポート

テーマ：「初期実習を通じての学びと自己の課題・目標」

下記要領に沿ってまとめる。

* レポート提出要領

表紙：「初期実習を通じての学びと自己の課題・目標」、学籍番号、氏名

本文：A4 サイズ、余白は上下、左右 25mm、45 文字×45 行

10 ポイント MS 明朝

番号の入れ方：I、1、1）、（1）、①…

引用文献：文末にリストを入れる。

枚数：指定なし

提出場所・方法：別途指示する

* 提出期限：2024 年 4 月 30 日（火）13：00

IV. 実習評価

原則として遅刻、欠席、早退は認めない。正当な理由、または感染性疾患の場合には、別途対応する。

評価の視点としては、実習の内容、実習中のグループワークと発表、討議における貢献度（自己・他者評価）、講義終了後レポート、実習終了後レポート、実習の目的・目標の達成度の自己評価（評価表）、出席状況などを通じて、総合的に評価する。

V. 実習に関する留意事項

1. 実習の目的・目標に基づき、主体的に行動する。
2. 実習施設および利用者の情報は、個人情報保護の観点から本学の「臨地実習にかかわる情報の取り扱い」の規定（看護学実習共通要項）を遵守する。
3. 健康管理に留意するとともに、インフルエンザなどの感染症予防や発生時の対応については、本学の規定（看護学実習共通要項）を遵守する。
4. 実習施設への移動は、公共交通機関を利用する。
5. 疑問点などがあった場合には、実習指導者やスタッフに適宜質問し、学生のみで判断しない。
6. 本実習では、高齢者とのコミュニケーションをとること、ケアの見学が中心であり、直接的なケアは実施しない。
7. 施設実習の服装
 - 1) 実習施設：
 - ・指定のポロシャツ
 - ・名札をつける
 - ・下は、綿パンツ、ジャージ（裾が床につかないもの。短パン、スウェット不可）
 - 2) 実習施設までの通学時：
 - ・実習生用のロッカー、控室がない施設が多い。
 - ・上記1)の服装の上に上着を羽織るか、すぐ着替えられる服装で通学する。

8. 施設実習時の持ち物

- ・実習に必要なもの（メモ帳、筆記用具）
- ・上靴、靴入れ袋
- ・自分用のハンドタオル、ティッシュ
- ・マスク最低2枚（着用→施設内に入ったら取り替える→終了・帰宅用）
- ・ビニール袋（着用したマスクの持ち帰り用）
- ・着替えた服などを入れる袋

*必要以上の貴重品、金品は持たない。またコンパクトにまとめる。

2024年度 初期実習評価表

学籍番号

学生氏名

* 評価得点は、**AA. よくできた** **A. できた** **B. 少しできた** **C. あまりできなかった** **D. できなかった**の 5 段階で評価し、その理由を記入する

評価項目	評価得点*	評価の理由
<p>1. ケアを受けつつ地域で生活をしている高齢者とコミュニケーションをとることができる。</p> <p>1) 助言を受けつつ、個々の高齢者の状況にあわせたコミュニケーションをとることができる。</p> <p>2) 自己のコミュニケーションのとり方について振り返り、コミュニケーション上の課題を明らかにできる。</p>		
<p>2. ケアを受けつつ地域で生活をしている高齢者を支えるしくみや職種について説明できる。</p> <p>1) 小規模多機能施設、看護小規模多機能施設の対象・機能（役割）について説明できる。</p> <p>2) 実習施設において働く職種とその役割について説明できる。</p> <p>3) 個々の高齢者に行われているケアの実際を見学し、健康障害をもちながらも地域で生活していくために必要な支援について考えることができる。</p>		
<p>3. 看護学生として実習に臨む姿勢について考え、行動できる。</p> <p>1) 自らの健康管理ができる。</p> <p>2) 実習施設において必要な態度、姿勢、マナーなどを考え、行動することができる。</p> <p>3) 実習で知り得た情報の守秘義務を遵守することができる。</p> <p>4) グループメンバーと協同して、互いの学びを共有化することができる。</p>		
<p>4. 実習を通じて看護学生としての目標や自己の課題を明らかにできる。</p> <p>1) 実習を通じて看護学生としての自己の課題を明確にできる。</p> <p>2) 看護学を学ぶにあたっての自己の目標を明確にできる。</p>		
総合評価		

教員評価・コメント

講義を受けて学んだこと

学籍番号： _____ 氏名： _____

「小規模多機能型居宅介護施設における介護役割」

「認知症の人の理解と関わり方」

日本医療大学 保健医療学部看護学科

2024年度 初期実習 実習要項

〒062-0053 札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号